

政策番号	18	政策分野	学校教育
------	----	------	------

基本方針	いかなる社会情勢にあっても、「ひとりひとりの子どもを徹底的に大切にする」という京都市教育の理念の下、京都で学んだ子どもたちがいのちを大切に、夢と希望をもって未来を切り拓いていけるよう、家庭・地域・大学・産業界・NPOなどの積極的な参画を得て、市民ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育む学校教育を推進する。
------	--

担当局	教育委員会	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	
---------------------	--

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 30	令和 元	令和2年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	学校教育に参画するボランティア数(人)	24,699	29,000	b	b	25,064	24,627	29,000	84.9%	b
2	小中合同の学校運営協議会を設置する中学校ブロックの割合(%)	16	50	a	a	49	64	43	148.8%	a
3	総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数(人)	45	600	a	a	578	668	540	123.7%	a
				a	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成30	令和元	令和2
1801	市民ぐるみの教育の推進(2指標)	a	a	a
1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進(4指標)	a	a	a
1803	教職員の資質・指導力の向上(2指標)	a	a	b
1804	新しい学習環境づくり(1指標)	a	a	a
(4施策平均)		a	a	a

政策の客観指標総合評価		平成30	令和元	令和2
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)		a	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成30	令和元	令和2※
1	保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。	b	b	-
2	安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。	b	b	-
3	学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。	b	b	-
4	子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	b	b	-
5	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	b	b	-
政策の市民生活実感調査総合評価		b	b	-

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成30年度		令和元年度		令和2年度※	
順位	%	順位	%	順位	%
7	88.9%	4	88.5%	-	-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	A	令和元	A	令和2	A	政策の目的が十分に達成されている
------	---	-----	---	-----	---	------------------

<原因分析>

【客観指標総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【市民生活実感調査総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【総括】

・客観指標評価では、概ね目標を達成し、高い評価を得ている。また、市民生活実感総合評価も、高い評価で推移しており、総合的に勘案し、この政策の目標は十分に達成されていると評価できる。

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成30	令和元	令和2
1801	市民ぐるみの教育の推進	A	A	A
1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進	A	A	A
1803	教職員の資質・指導力の向上	A	A	B
1804	新しい学習環境づくり	A	A	A

<今後の方向性>

①市民ぐるみの教育の推進

・学校運営協議会については、地域ぐるみの教育、開かれた学校づくりの核として、全幼稚園、小学校、小中学校、総合支援学校への設置など市町村別で全国最多の学校・園に設置しているところであり、今後も中学校及び小中合同による設置を拡大し、学校・家庭・地域の協働体制のもとで、学校運営の充実・改善を推進していく。
・また、総合支援学校については、引き続き高等部での職場実習の受入先企業・団体の一層の開拓に取り組む。

②子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進

・子どもたちに「生きる力」を育むため、創造的で個性豊かな子どもとその「確かな学力」を育成する取組、豊かな人間性を育む取組、心身ともに健全でたくましい子どもを育成する取組を推進するとともに、教職員の資質・指導力向上や教育環境の整備にも取り組む。
・就学支援シートの活用や、LD等通級指導教室の設置拡大等により、より多くの支援を必要とする子が通級による専門的な指導を受けることができるよう、体制の充実を図る。

③教職員の資質・指導力の向上

・「京都市教員等の資質の向上に関する指標」に基づき、総合教育センターにおいて、キャリアステージに応じた研修や喫緊の教育課題に関する研修を実施する。新型コロナウイルス感染症拡大防止及び教職員の働き方改革も踏まえ、教材や研修動画、優れた授業映像をイントラネット上で配信する「総合教材ポータルサイト」を活用し、オンライン研修を実施するなど、教職員の研修機会の充実・改善に努めるとともに、研修の手法も工夫していく。
・「京都市OJT実践ガイドライン」を活用し、各校園におけるOJTのさらなる推進を図る。
・育児休業中の教職員が円滑に職場復帰できるよう、復帰を予定している教職員を対象に、育児休業復帰時の不安軽減につながる研修を実施するとともに、育児休業中の教職員にも受講可能な研修の情報を周知するなど、復帰に向けた研修機会の充実を図る。

④新しい学習環境づくり

・環境やバリアフリーの観点、更には施設の長寿命化の視点を踏まえながら、子どもたちが安心して快適に過ごせる学習環境の整備を進める。
・地域の防災拠点として機能できるよう、防災機能や耐震性能の向上の観点から学校施設の整備を行う。
・個別最適化された学びを継続的に確保するため、国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台の端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する。

政策名	18	学校教育				
指標名	学校教育に参画するボランティア数（人）					
担当部室	総務部	連絡先	2 2 2－3 7 6 8			
1 指標の説明						
学校支援ボランティア、学生ボランティア、総合育成支援教育ボランティア、スチューデントシティ・ファイナンスパーク学習ボランティア、青少年科学センターボランティア、学校図書館ボランティア等の学校教育に参画するボランティアの人数						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
市民の学校教育への参画の推進を示す指標		出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠			
	24,699	29,000	現況値（平成21年度24,000人）の約20%増しを目指す			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値 数値	根拠	達成度
数値	25,064	24,627	437人減	29,000	令和2年度目標値を段階的に達成していくために、当年度に達成すべき数値（前年度目標値の500人増）	84.9%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値	-			-		
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		100%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	令和2
				b	b	b

指標名	小中合同の学校運営協議会を設置する中学校ブロックの割合（％）					
担当部室	生涯学習部		連絡先	2 5 1－0 4 5 6		
1 指標の説明						
「小中一貫教育」、「地域とともにある学校づくり」の観点から小中合同の学校運営協議会を設置する中学校ブロックの割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
校種間で連携した地域ぐるみの教育の推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
10年後（令和2年度）の目標値	平成26年度評価値	令和2年度目標値	根拠			
	16	50	中学校ブロックの半数が設置している状況（％）			
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値 数値	根拠	達成度
数値	49	64	15ポイント増	43	令和2年度目標値を段階的に達成していくために、当年度に達成すべき数値	148.8%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値	-			-		
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		100%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	令和2
				a	a	a

政策名	18	学校教育					
指標名	総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数（人）						
担当部室	指導部	連絡先	3 5 2－2 2 8 5				
1 指標の説明							
総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
総合支援学校高等部卒業生の自立的な社会参加の達成状況を示す指標		出典：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠				
	45	600	今後10年間(H23～R2年度)の総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数を、過去10年間(H13～22年度：365人)の50%増を上回る600人とする。				
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	578	668	90人増	540	令和2年度目標値を段階的に達成していくために、当年度に達成すべき数値	123.7%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	600	令和2年度	111.3%			過去10年間（H13～22年度：365人）の50%増
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果			
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満		最終的な目標値の達成を鑑みて、100%以上をaとし、以下5%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	令和2	
				a	a	a	